



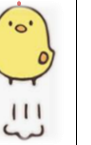


レベル	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
到達目標	1.職場に慣れることができる 2.病棟の日勤帯の業務の流れが理解できる 3.患者や先輩看護師とのコミュニケーションができる 4.社会人・看護師としてのマナーを守ることができる 5.病棟の構造、特殊性が理解できる 6.病院の機能と役割が理解できる 7.病院および看護部の理念・目標が理解できる 8.NHOが担う医療を理解できる	1.指導者とともに日勤業務ができる 2.チーム内での業務、役割分担が理解できる 3.指導を受けながらタイムリーに確認・連絡・報告ができる。 4.ISBARCを用いて報告できる。 5.指導を受けながら休日勤務ができる 6.部署の代表疾患の病態・主要症状と治療の学習ができる 7.院内感染防止マニュアルに基づいて行動できる 8.看護基準・手順に沿った看護実践ができる 9.就業規則を理解し、時間管理できる(タイムマネジメント)	1.日勤業務が実施できる 2.指導を受けながら、複数の患者を受け持ち、看護技術を実施できる 3.夜勤業務を経験し、一日の流れを理解できる 4.指導を受けながら退出・早出ができる 5.部署の代表疾患の看護について学習ができる 6.救急カート物品の使用方法について説明できる。	1.複数受持ち患者を一人(主)で担当することができる 2.指導を受けながら夜勤業務ができる 3.自部署の危機対策を理解し、助言を受け行動できる 4.多様な価値観や生活背景をもつ患者を尊重した行動ができる 5.論理的シレンマについて、指導者と共に考えることができる	1.データベースを活用して健康状態をアセスメントできる 2.基本的な技法を用いて、患者・家族との適切な援助的コミュニケーションを図ることができる 3.コスト意識を持ち、物品を適切に選択・使用できる 4.指導を受けながら、多重課題について対応できる。	1.優先順位を判断して行動できる 4.多職種連携、チーム医療について理解し、一部参加できる 5.医療安全マニュアルに基づいて行動できる	1.指導者と共に入院時の看護ができる 2.自己の看護を振り返る際に、文献を活用し看護観を述べる 3.指導者の指導を受け、受持ち看護師の役割を理解すること 4.チーム医療における看護師の役割及び連携について理解し、情報共有できる							
	指導者と共に患者の看護を見学・一部実施する	指導者とともに患者を担当する(1~2名まで) 休日勤務	指導者とともに患者を主で4~6名担当する(重症患者を除く) 早出・遅出業務 教育夜勤	チームの支援を受けながら業務を拡大する 日勤メンバーの業務を行う 予定手術、検査患者を担当する			日々の業務を優先順位をつけて行動する 日々の担当患者の情報を把握し、チームカンファレンスに参加する。		入院患者を指導者とともに受け入れる		サポートリーダーの受持ち患者を1名受持つ			
OJTでの支援計画	1.病棟概要(オリエンテーション) 2.勤務表の見方、勤務繰表、時間管理の考え方、休憩の種類、休憩の申請方法 3.自部署の教育計画(サポートリーダーとともに確認) 4.シャドウイング *電子カルテ操作 *情報収集の方法	1.指導を受けながらタイムリーに確認・連絡・報告を実施する。 2.ISBARCを用いて報告する。 3.ハリールコール、コードイエロー、コードホワイトについて説明を受ける。 4.救急カートの説明を受け、定位置や内容を知る。 5.救急カートの物品、薬剤を調べワークシートを作成し提出する。 6.緊急時の対応について説明を受ける。 7.感染対策委員より、マニュアルに基づいて、感染対策の説明を受ける。 8.看護基準・手順について説明を受け、ケアを実施する前に看護基準・手順を確認する。 9.自部署における代表的疾患について、ピアサポートとともに確認する。	1.自部署の夜勤業務標準のオリエンテーションを受ける。応援要請について確認する。(緊急コールの理解) 2.自部署で、指導者とともに聴診やXP、血液データなども確認しながら、吸引前後の患者の状態観察を行う。 3.看護記録について、看護記録委員より説明を受ける 4.救急カートの物品の把握と使用方法について、ワークシートを用いてサポートリーダーへ説明する。 5.夜勤の振り返りをして、疑問点・不安な点等を解消し、次の夜勤に臨む	1.日頃の看護現場で患者・家族との関わりについて「これでよかったのか」と思う場面を挙げて、集合研修の学びを活用しながら、サポートリーダー、看護師長と話し合い、どのように対応するとよいかを明らかにする。 2.シミュレータを活用し、技術練習を行う。		1.現場で実際に困った多重課題の場面を挙げて、集合研修の学びを活用しながら、サポートリーダー、看護師長と話し合い、どのように考えて行動するとよいかを考える。	1.日頃の業務の中での優先された業務が入った際の判断を意識して行動する。 2.サポートリーダーに日々の業務の中で、優先順位の考え方について確認する。 3.医療安全マニュアルについて説明を受ける。	1.持続点滴中(静脈内留置)患者の管理方法について説明を受ける。 2.忘れられない看護場面について、自分なりに考えをまとめておく	【自部署で発表】テーマ「その人らしさを支える看護とは」 一年間を通して学んだことを上記のテーマで発表し、先輩看護師からの助言や承認を行う ・ACTy 最終評価 ・期日までに認定に必要な書類を教育担当師長へ提出する	受持ち看護師の役割について説明を受ける  年間の評価を行う。 ポートフォリオ記入 今年度を振り返り自己の課題を明確にする 次年度の目標立案につなげる  レベル認定結果をうけ次年度の研修受講の申請を行う				
集合研修 Off-JT	新採用者研修 看護部新人研修	「適切な確認・連絡・報告(緊急コール)」	BLS 急変時の対応 自施設・自部署の理解 リフレッシュ研修	看護倫理		多重課題	医療安全		リフレクション「看護を語る」					
面接	サポートリーダーと日々の振り返りを行う 看護師長、副看護師長面接		看護師長ポートフォリオ面接、教育担当師長面接 サポートリーダーと振り返り	サポートリーダーと振り返り		サポートリーダーと振り返り	看護師長ポートフォリオ面接		サポートリーダーと振り返り		サポートリーダーと振り返り 看護師長ポートフォリオ面接			
OJTでの看護技術教育(各部署)	<b>夜勤に入るまでに修得したい看護技術</b> <input type="checkbox"/> ベッドメイキング <input type="checkbox"/> 病床の環境整備 <input type="checkbox"/> 食事援助 <input type="checkbox"/> 経管栄養・胃ろう <input type="checkbox"/> 便器尿器の使用 <input type="checkbox"/> おむつ交換 <input type="checkbox"/> 摘便、浣腸 <input type="checkbox"/> 良肢位 <input type="checkbox"/> 体位変換 <input type="checkbox"/> 移動移送 <input type="checkbox"/> 睡眠援助 <input type="checkbox"/> 入浴 <input type="checkbox"/> シャワー浴 <input type="checkbox"/> 全身清拭 <input type="checkbox"/> 口腔ケア <input type="checkbox"/> 環衣交換 <input type="checkbox"/> 冷電法 <input type="checkbox"/> 感染予防対策 <input type="checkbox"/> 針刺し防止 <input type="checkbox"/> バイタルサイン <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 口腔内・鼻腔内吸引 <input type="checkbox"/> 経口与薬 <input type="checkbox"/> 直腸内与薬 <input type="checkbox"/> 薬液吸入(ネブライザー) <input type="checkbox"/> 静脈採血 <input type="checkbox"/> 輸液ポンプ・シリンジポンプ <input type="checkbox"/> 血糖測定		看護技術 チェック	<b>6ヶ月以内に習得したい看護技術</b> <input type="checkbox"/> 導尿 <input type="checkbox"/> 膀胱留置カテーテル <input type="checkbox"/> 臥床患者の洗髪 <input type="checkbox"/> 筋肉注射 <input type="checkbox"/> 皮下注射 <input type="checkbox"/> インスリン注射 <input type="checkbox"/> スキンケア(保清・保温・保護)	看護技術 チェック	<b>12ヶ月以内に習得したい看護技術</b> <input type="checkbox"/> 薬剤等の管理(毒薬、劇薬、麻薬、血液製剤、抗悪性腫瘍薬を含む) <input type="checkbox"/> 気管内吸引 <input type="checkbox"/> 急変時看護 <input type="checkbox"/> ECGモニター <input type="checkbox"/> 人工呼吸器の管理 <input type="checkbox"/> 救急蘇生法 <input type="checkbox"/> 点滴静脈内注射(生食ロック含む)	看護技術 チェック							
必修 eラーニング		看護記録基礎編	口腔内・鼻腔内吸引	医療安全の基本を知る①				安全な静脈注射の実施を目指してレベル1-2						
おすすめ eラーニング	感染防止の技術 食事援助技術 活動・休息援助技術 呼吸・循環を整える技術 苦痛の緩和・安楽確保の技術	環境調整技術 排泄援助技術 清潔・衣生活援助技術 与薬の技術	ストレスから自分を守るセルフケア   バイタルサインの評価   救急カート	安全・安楽な採血を目指して静脈採血   フィジカルアセスメント 循環、心臓	現場の事例で学ぶ対応力向上のためのコミュニケーション術   フィジカルアセスメント 胸部：肺	フィジカルアセスメント 神経	フィジカルアセスメント 腹部	他人に伝える文章の書き方 第1回：レポート作成の基本	仕事についていけないと感じたときどうしたらいいの(新人看護師メンタルヘルスケア)		世界最「幸」職種を選んだ皆様へ ~看護師を選んでよかったあ♡~	創傷管理技術	・おすすめeラーニングはOJTに合わせて自分で視聴する ・手技は自分で必要な手順を都度確認する	